

## 出川監事によるアルメニア・ディリジャン校視察報告 (概要)

日時：2014年11月6日（木）10:00～16:00

場所：UWCディリジャン校（アルメニア、ディリジャン）

### 1. 視察概要

#### (1) ディリジャン校の概要

##### ①生徒の構成：

- 先月より、96名の1年生が学習を始めている。
- 45カ国から生徒が集まっている。一番多いのが地元のアルメニアからの10人。アジア系はベトナムや中国を入れて8名。



##### ②使用言語：

- 授業はすべて英語で行われている。
- 希望があればアルメニア語、ロシア語を含めてほとんどの言語が学習可能。
- 現地語をより簡単に覚えられるように現在講座の開設を検討している。

##### ③医療体制：

- 4人の看護婦が輪番により常時対応している。また、日中は専従の医師が勤務している。
- 必要があれば街の医療施設やエレバンの施設と連携する。



#### ④財政面：

- ▶ 理事長の夫妻をはじめ、篤志家たちが3年程度で200億円の「基金」を設立する計画がある。



#### ⑤日本協会からの奨学生に対する奨学金：

- ▶ 初年度は1名の派遣生に対して、ニーズ・ベースのカレッジ奨学金を支給する。

#### ⑥その他

- ▶ 飛び入りで参加をした3クラス（哲学、生物、化学+美術）の生徒たち一人ひとりと話をしたところ、みんながとても明るく、カレッジでの生活と学習を満喫していることが感じられた。



### (2) 生活環境

#### ①カレッジ外の環境とアクセス：

- ▶ ディリジャンは非常に閑静な田舎町（人口2万人程度）であり、カレッジとも交流がある。
- ▶ 週末はカレッジからバンが出されていて（14人乗りが4台）、首都のエレバンに出られる。



#### ②食事：

- ▶ 食堂は清潔で明るく、最新設備が備えられている。
- ▶ サラダやスープのほかに、常時4種類のメイン料理が用意されている。



#### ③銀行：

- ▶ 理事長がロシアやアルメニアの銀行のCEOであり、ドル送金がヨーロッパなどの銀行のように簡単にできる（ドル口座があるとのこと）。
- ▶ 学生は町の銀行で簡単に現地通貨に両替が可能。

## 2. 結論

- (1) ディリジャン校は現カレッジでも最高水準の施設・設備を有しており、安全面にも十分な配慮がされている。また、財政面で磐石な計画が立案されている。
- (2) 日本協会としても、カレッジによりニーズ・ベースの奨学金が提供されることも踏まえ、生徒の派遣を実行する方向で検討してはどうか。



以上